

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第2号（普通期水稻のトビイロウンカ）を發表します。

病害虫発生予察 注意報第2号

1 農作物名 普通期水稻

2 病害虫名 トビイロウンカ

3 発生状況及び注意報発令の根拠

- (1) 7月31～8月5日の巡回調査（第二世代成虫期）では発生ほ場率が77%（平年17%）で、平年に比べて高かった（表1）。
- (2) 水田に定着して増殖する短翅型雌成虫の発生ほ場率も59%と高く、8月上旬の要防除水準0.2頭/株を上回っているほ場もみられた。
- (3) 向こう3か月の天候予報では、九州南部の平均気温は平年並か高いと予想されており、トビイロウンカの増殖に好適な条件が見込まれる（鹿児島地方気象台 7月23日発表）。

4 防除の考え方

- (1) 7月1日飛来虫の8月世代幼虫の防除時期
粉剤・液剤・粒剤による防除の場合は、8月13～19日頃を目安に防除する。

5 防除上注意すべき事項

- (1) トビイロウンカは増殖率が年間1,000～1,500倍と非常に高く、8月下旬以降には高密度となり坪枯れ被害を生じる。ほ場内の分布にはムラがあるので、出来るだけほ場全体の発生状況を確認する。
- (2) 稲の株元に生息するので、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布する。
- (3) 農薬の使用基準を遵守し、薬剤散布にあたっては飛散に十分注意して行う。

海外飛来性害虫の有効積算温度による发育経過予測図 (鹿児島地方気象台：鹿児島郡のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所 2009年8月5日 作成

1. トビイロウンカ

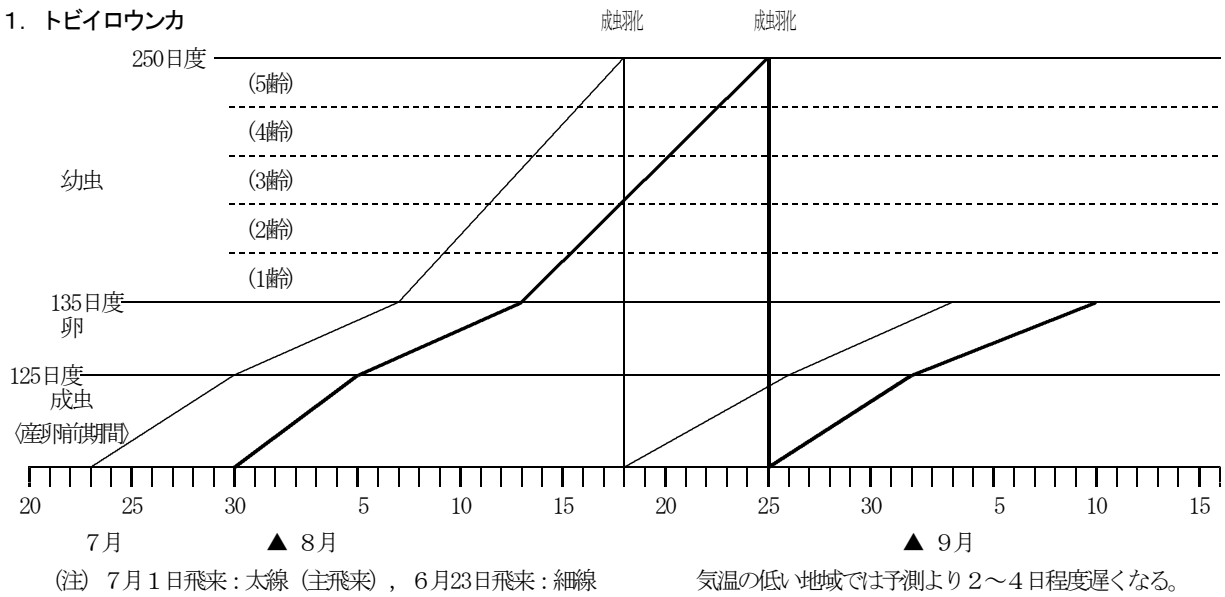


表1 トビイロウンカの発生状況 調査日：7月31日～8月5日

地域名	発生ほ場率 (%)		調査ほ場数
	平成21年	平年	
南 薩	70	27	10
北薩平坦	79	19	24
北薩山間	73	17	22
大 隅	83	9	6
県 計	77	17	62

※ 平年値は1999年～2008年までの平均

※ 巡回調査地点

- 南 薩：南九州市玖波町永里・川辺町古殿・川辺町勝目
 日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里
- 北薩平坦：鹿児島市東佐多町，蒲生町楠田，始良町三拾町
 霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎・高江
 出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田
 薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内
- 北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手
 伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方
- 大 隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里